

# 平成17年3月期決算概況と 今後の事業展開について

Speciality Chemical Partner



## 荒川化学工業株式会社

# 目 次

- 1 . 平成 1 7 年 3 月期決算概況と今期の予想
- 2 . セグメント別情報
- 3 . 事業の特徴
- 4 . 中期 5 カ年経営計画の進捗と展望
- 5 . 設備投資等
- 6 . 株主還元策

参考資料 . 会社・事業概要



# 1 . 平成 1 7 年 3 月期決算概況と今期の予想

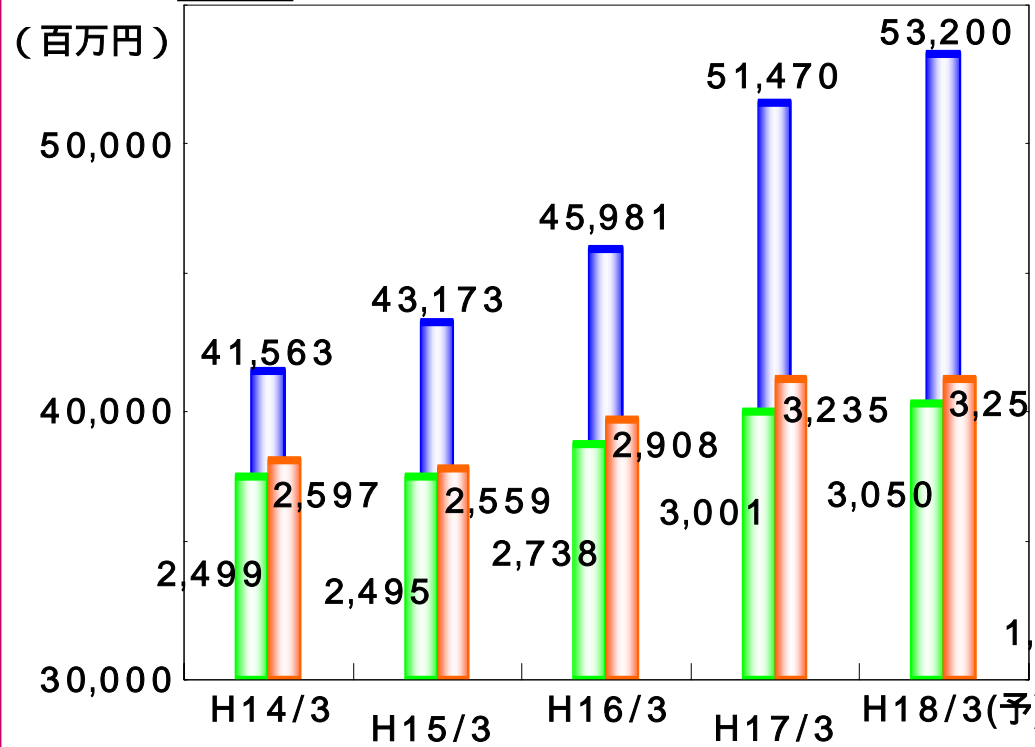
## 1 - 1 . 決算概要

(単位：百万円)		H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
売上高	(連結)	45,981	51,470	5,489	11.9	53,200
	(単独)	41,135	43,922	2,787	6.8	45,000
営業利益	(連結)	2,738	3,001	263	9.6	3,050
	(単独)	1,820	1,806	14	0.8	1,910
経常利益	(連結)	2,908	3,235	326	11.2	3,250
	(単独)	2,273	2,429	155	6.8	2,450
当期純利益	(連結)	1,560	1,826	265	17.0	1,680
	(単独)	1,404	1,634	230	16.4	1,520
総資産	(連結)	52,117	54,640	2,522	4.8	56,450
	(単独)	46,305	48,284	1,979	4.3	50,010
株主資本	(連結)	28,942	30,330	1,387	4.8	31,630
	(単独)	27,936	29,183	1,247	4.5	30,340

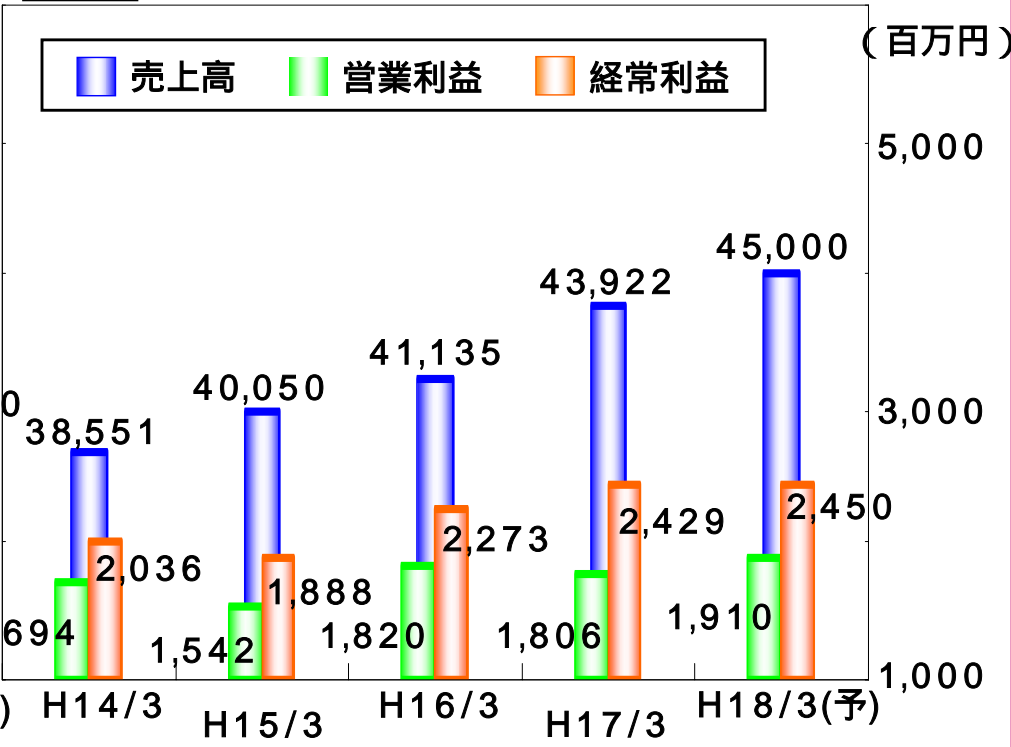


# 1 - 2 . 業績推移 ( 1 )

連結



単独



前期比増減

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

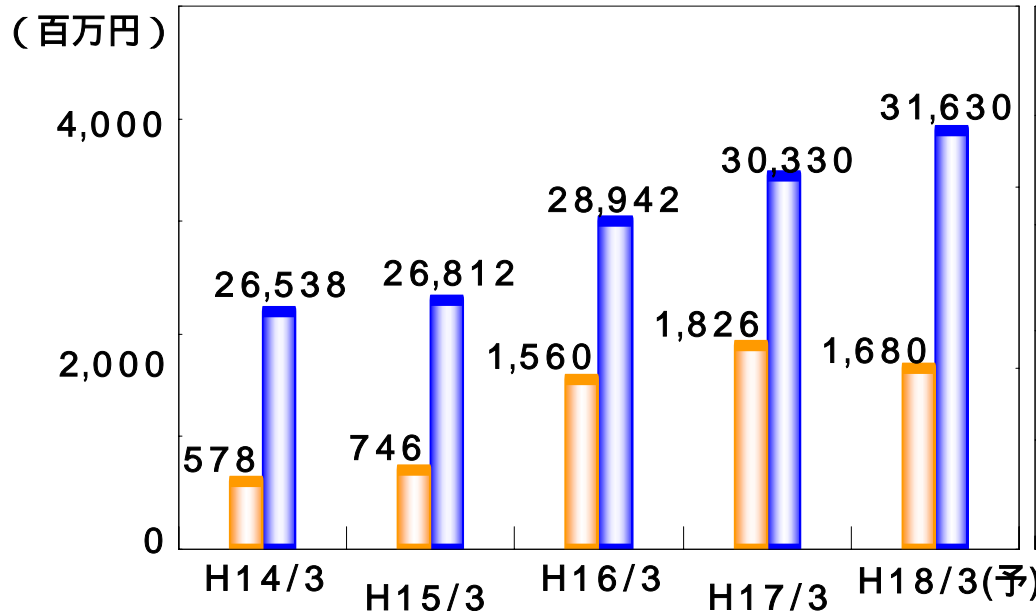
	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
売上高	2,470 ( 5.6)	1,609 (3.9)	2,808 (6.5)	5,489 (11.9)	1,729 (3.4)	2,570 ( 6.2)	1,498 (3.9)	1,084 (2.7)	2,787 (6.8)	1,077 (2.5)
営業利益	381 ( 13.3)	3 ( 0.1)	242 (9.7)	263 (9.6)	48 (1.6)	384 ( 18.5)	152 ( 9.0)	278 (18.1)	14 ( 0.8)	103 (5.7)
経常利益	288 ( 10.0)	38 ( 1.5)	349 (13.6)	326 (11.2)	14 (0.4)	319 ( 13.6)	147 ( 7.2)	384 (20.4)	155 (6.8)	20 (0.9)

Speciality Chemical Partner

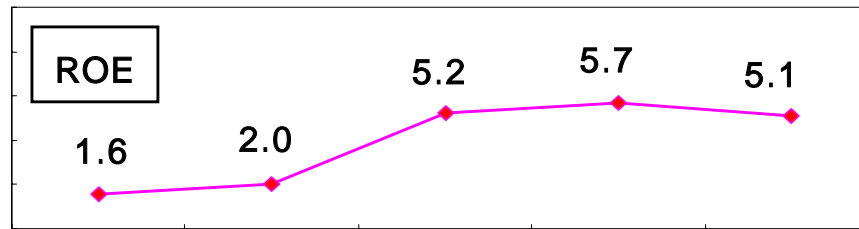
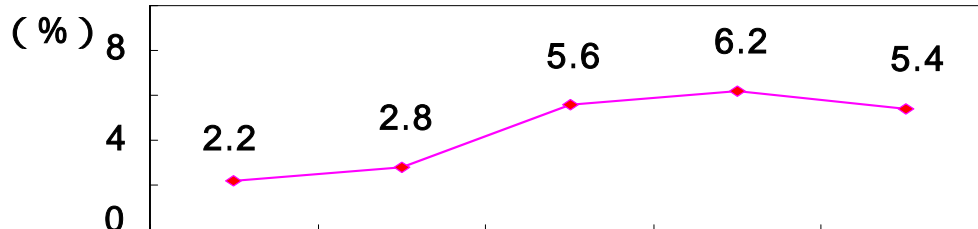
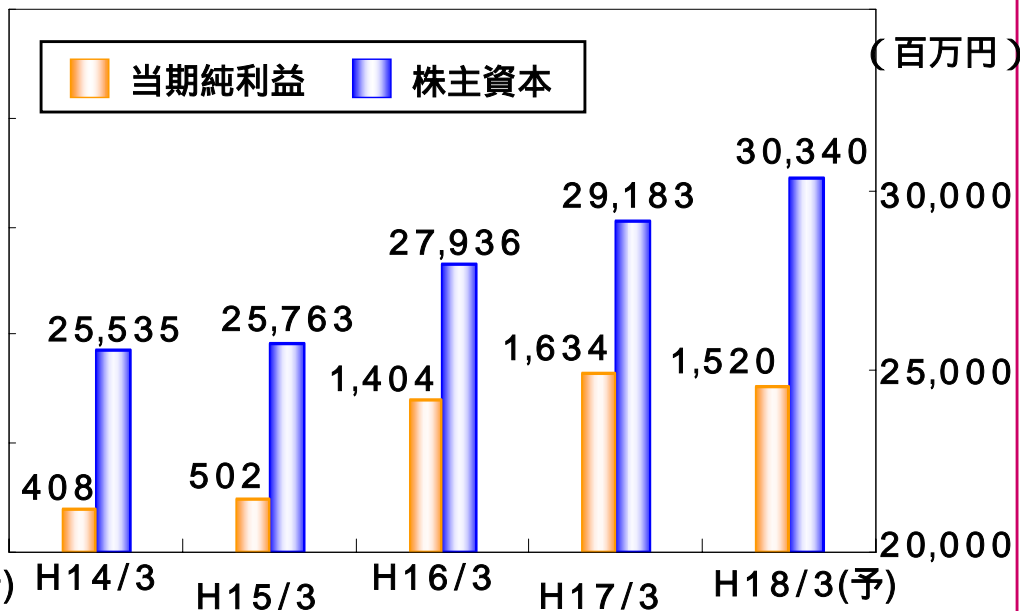


# 1 - 2 . 業績推移 ( 2 )

連結



単独



## 前期比増減

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
当期純利益	941	168	813	265	146
	( 62.0)	(29.2)	(109.0)	(17.0)	( 8.0)
株主資本	729	274	2,129	1,387	1,299
	(2.8)	(1.0)	(7.9)	(4.8)	(4.3)

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
当期純利益	933	93	902	230	114
	( 69.5)	(23.0)	(179.6)	(16.4)	( 7.0)
株主資本	232	228	2,172	1,247	1,156
	(0.9)	(0.9)	(8.4)	(4.5)	(4.0)

Speciality Chemical Partner



# 1 - 3 . 損益項目

(単位：百万円)		H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
販売費及び 一般管理費	(連結)	8,326	9,188	862	10.4	9,650
	(単独)	7,205	7,304	99	1.4	7,450
営業外収益	(連結)	333	352	18	5.6	290
	(単独)	569	681	112	19.7	590
営業外費用	(連結)	163	118	45	27.6	90
	(単独)	116	59	57	49.4	50
特別利益	(連結)	0	143	142	- ( )	0
	(単独)	0	143	142	- ( )	0
特別損失	(連結)	43	66	23	54.4	35
	(単独)	24	60	35	143.4	30

連結、単独ともに前年同期は0百万円

Speciality Chemical Partner



# 1 - 4 . 損益項目推移

連結

単独

前期比増減

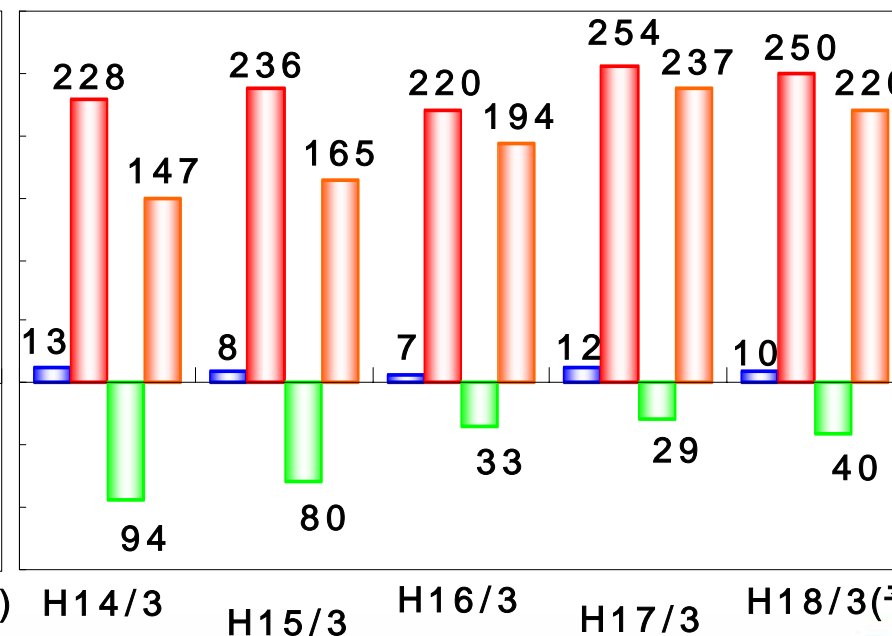
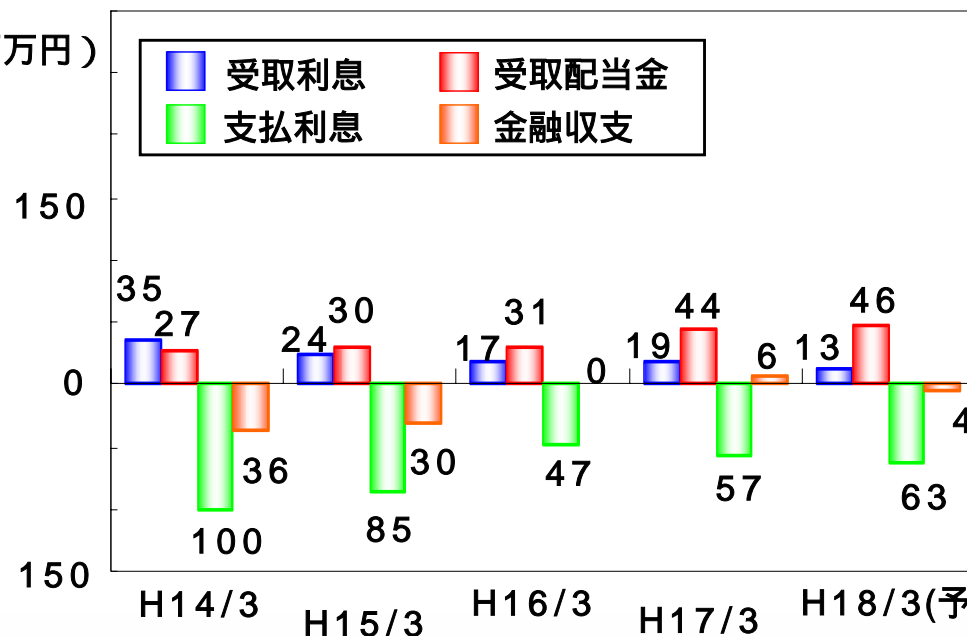
(単位：百万円 ( )内は増減率%)

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
販売費	1	67	671	862	461
一般管理費	( 0.0)	(0.9)	(8.8)	(10.4)	(5.0)
営業外益	26	1	60	18	64
営業外費用	( 8.8)	(0.4)	(22.1)	(5.6)	( 18.2)
特別利益	97	57	0	142	143
特別損失	( 62.7)	( 99.0)	( 66.2)	( - )	( 100.0)
特別損失	1,251	367	975	23	31
	(929.0)	( 26.5)	( 95.8)	(54.4)	( 47.4)

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
販売費	128	159	124	99	145
一般管理費	( 1.8)	(2.3)	(1.8)	(1.4)	(2.0)
営業外益	2	6	71	112	91
営業外費用	( 0.5)	(1.3)	(14.4)	(19.7)	( 13.5)
特別利益	96	57	0	142	143
特別損失	( 62.6)	( 100.0)	( - )	( - )	( 100.0)
特別損失	1,244	370	981	35	30
	(944.4)	( 26.9)	( 97.5)	(143.4)	( 50.6)

(百万円)

■ 受取利息 ■ 受取配当金  
■ 支払利息 ■ 金融収支

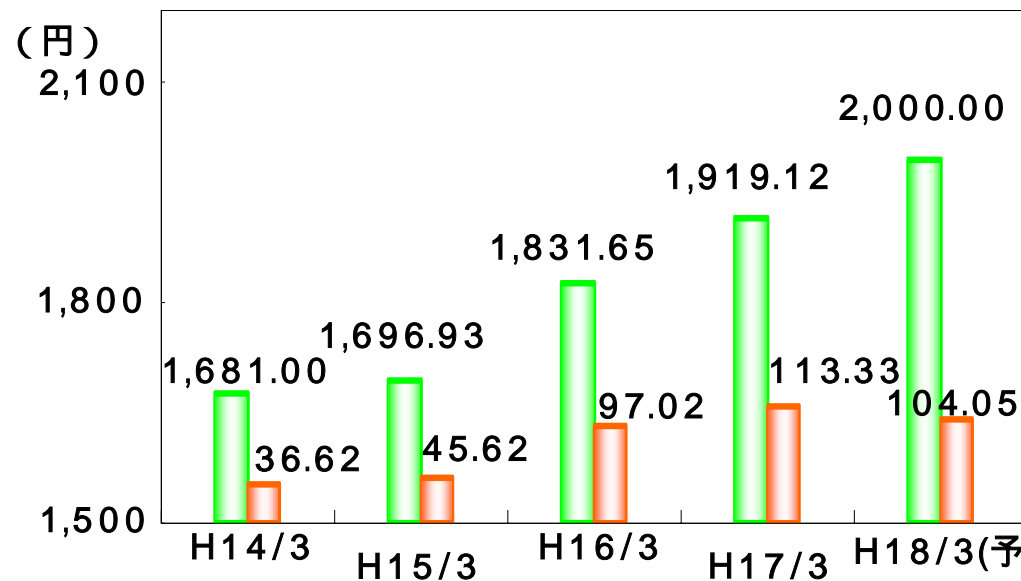
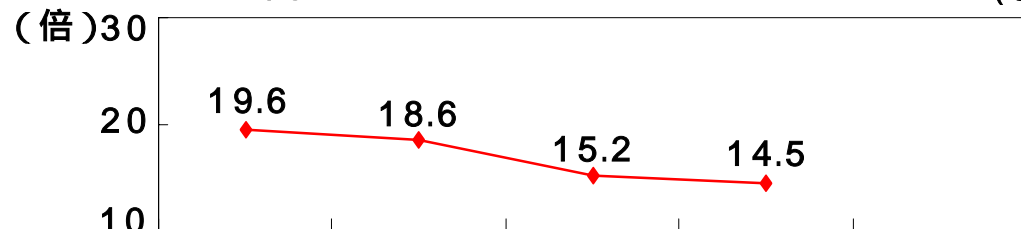
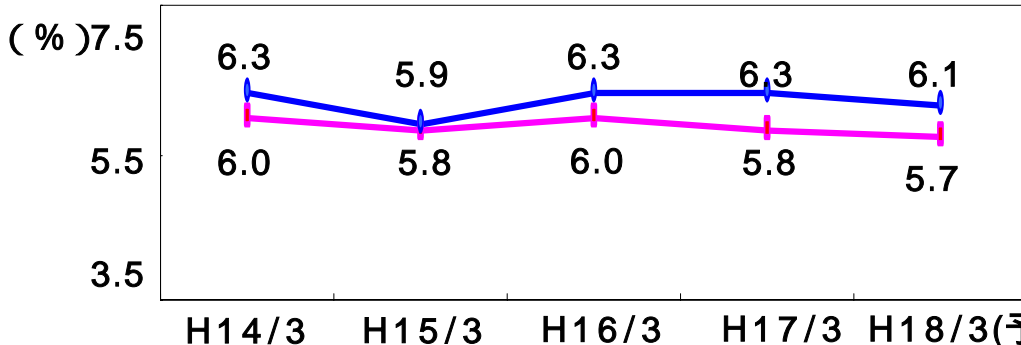


Speciality Chemical Partner

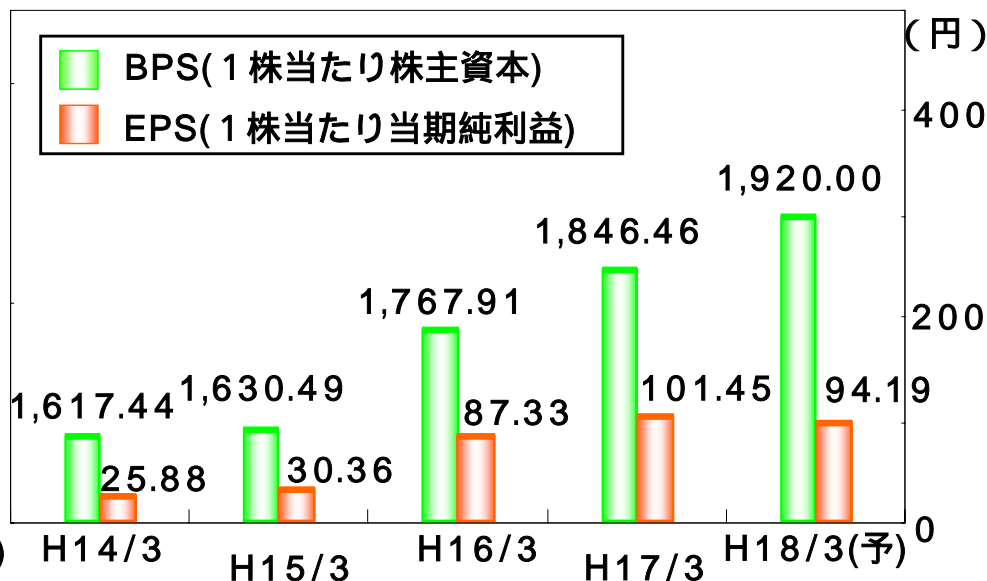
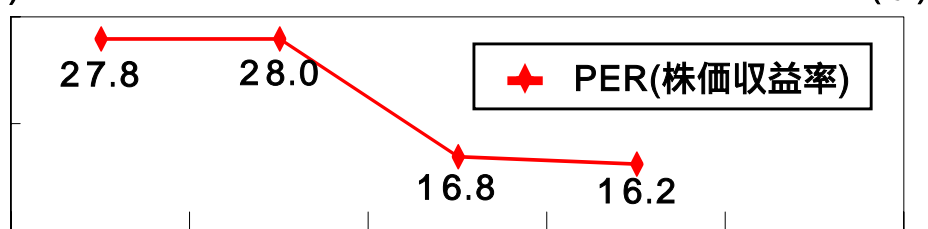
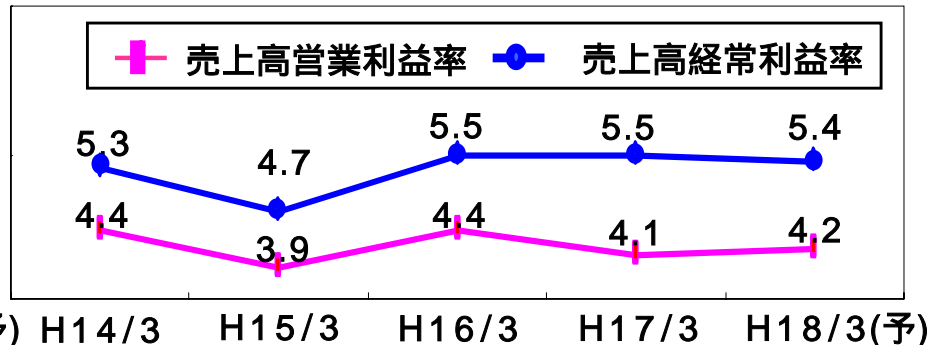


# 1 - 5 . 経営指標等

連結



単独



Speciality Chemical Partner





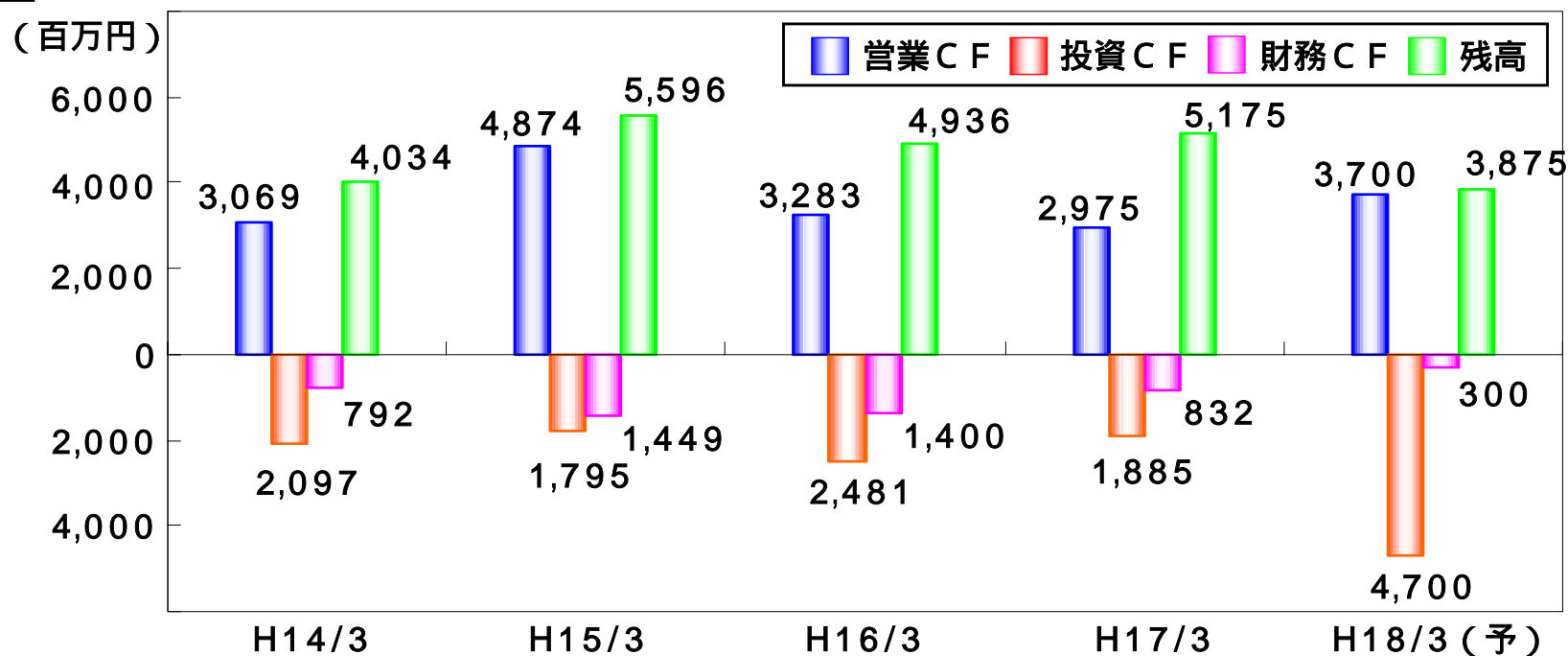
# 1 - 6 . キャッシュフロー計算書 (連結)

(単位:百万円)	H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
営業活動による キャッシュフロー	3,283	2,975	308	9.4	3,700
税金等調整前 当期純利益	2,865	3,312	446	15.6	3,215
減価償却費	1,572	1,587	14	0.9	1,750
法人税等の支払額	908	1,323	414	45.7	1,330
投資活動による キャッシュフロー	2,481	1,885	595	24.0	4,700
固定資産取得等 による支出	1,131	1,975	844	74.6	4,460
財務活動による キャッシュフロー	1,400	832	568	40.6	300
現金及び現金同等物 の期末残高	4,936	5,175	239	4.8	3,875



# 1 - 7 . キャッシュフロー推移 (連結)

連結



前期比増減

(単位：百万円)

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
営業 キャッシュフロー	2,309	1,805	1,591	308	724
投資 キャッシュフロー	802	301	686	595	2,814
財務 キャッシュフロー	2,008	657	48	568	532
現金及び現金同等物の 期末残高	250	1,561	659	239	1,300

Speciality Chemical Partner

# 1 - 8 . 業績予想

(単位：百万円)		H17/3		H18/3(予)		前年比(通期)	
		上期	通期	上期	通期	増減額	増減%
売上高	(連結)	25,389	51,470	25,900	53,200	1,729	3.4
	(単独)	21,566	43,922	22,200	45,000	1,077	2.5
営業利益	(連結)	1,693	3,001	1,340	3,050	48	1.6
	(単独)	1,076	1,806	820	1,910	103	5.7
経常利益	(連結)	1,800	3,235	1,430	3,250	14	0.4
	(単独)	1,297	2,429	1,000	2,450	20	0.9
当期純利益	(連結)	972	1,826	760	1,680	146	8.0
	(単独)	808	1,634	620	1,520	114	7.0
営業利益率	(連結)	6.7	5.8	5.2	5.7	-	-
	(単独)	5.0	4.1	3.7	4.2	-	-
経常利益率	(連結)	7.1	6.3	5.5	6.1	-	-
	(単独)	6.1	5.5	4.5	5.4	-	-

Speciality Chemical Partner



## 2 . セグメント別情報

### 2 - 1 . 連結セグメント別概況 ( 1 )

#### [紙・パルプ業界環境情報]

平成16年度の紙の生産量は前年同期比 + 1.8%、一方板紙は同 0.5%となり、全体で + 0.9%。(日本製紙連合会統計資料より当社算出)

参考：製紙用サイズ剤・紙力剤の添加率 0.3 ~ 1% (対パルプ固形)

#### 製紙用薬品事業 (平成17年3月期)

情報紙用薬品が減少。塗工紙用薬品、紙力増強剤、粘着ラベルなどの剥離紙に使用されるシリコン樹脂の販売が伸長。海外の子会社は、新たに連結子会社となった梧州荒川化学工業の寄与もあり売上が増加。全体としては増収増益。

(単位：百万円)		H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
製紙用品	売上高	17,444	19,593	2,149	12.3	20,160
	営業利益	902	964	61	6.8	970
	営業利益率	5.2%	4.9%	-	-	4.8%



## 2 - 1 . 連結セグメント別概況 ( 2 )

### [印刷インキ業界環境情報]

平成16年度の印刷インキは堅調に推移した。生産量は、全体で前年同期比+0.7%、平版インキが好調で+5.0%、グラビアは+0.6%、新聞インキ+1.5%。(経済産業省化学工業統計より当社算出)

参考：平版インキ中のインキ用樹脂の割合 25 - 30%

### [粘着・接着剤業界環境情報]

平成16年4 - 12月の粘着・接着剤は堅調に推移した。生産量は、全体で前年同期比+3.2%、水性タイプは+2.6%と伸びた。(日本接着剤工業会統計より当社算出)

参考：テープ・ラベル用粘着剤への樹脂添加率 20 ~ 40% (固形比)

### [電子工業業界環境情報]

平成16年1 - 12月の民生用電子機器の生産台数は前年同期比+9.1%、産業用電子機器の生産台数は前年同期比 3.4%、電子部品・デバイスの生産量は+6.5%。(経済産業省 生産動態統計より当社算出)

参考：日本ペルノックス製品は電子工業業界に幅広く使用され、また精密部品・電子デバイス等の洗浄には当社洗浄剤が使用されている



## 2 - 1 . 連結セグメント別概況 ( 2 )

### 工業用樹脂 (平成17年3月期)

特殊グラビアインキ用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤が減少。オフセットインキ用樹脂、環境に配慮した光硬化型樹脂や塗料用樹脂の販売が順調に推移。新規分野では超淡色ロジン、電子材料用樹脂、日本ペルノックスの寄与のあった電子材料関連分野において売上が増加。海外の子会社は、新たに連結子会社となった梧州荒川化学工業の寄与もあり売上が増加。全体としては増収増益。

(単位：百万円)		H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
工業用樹脂	売上高	27,645	31,178	3,533	12.8	32,130
	営業利益	1,803	2,007	203	11.3	2,040
	営業利益率	6.5%	6.4%	-	-	6.3%

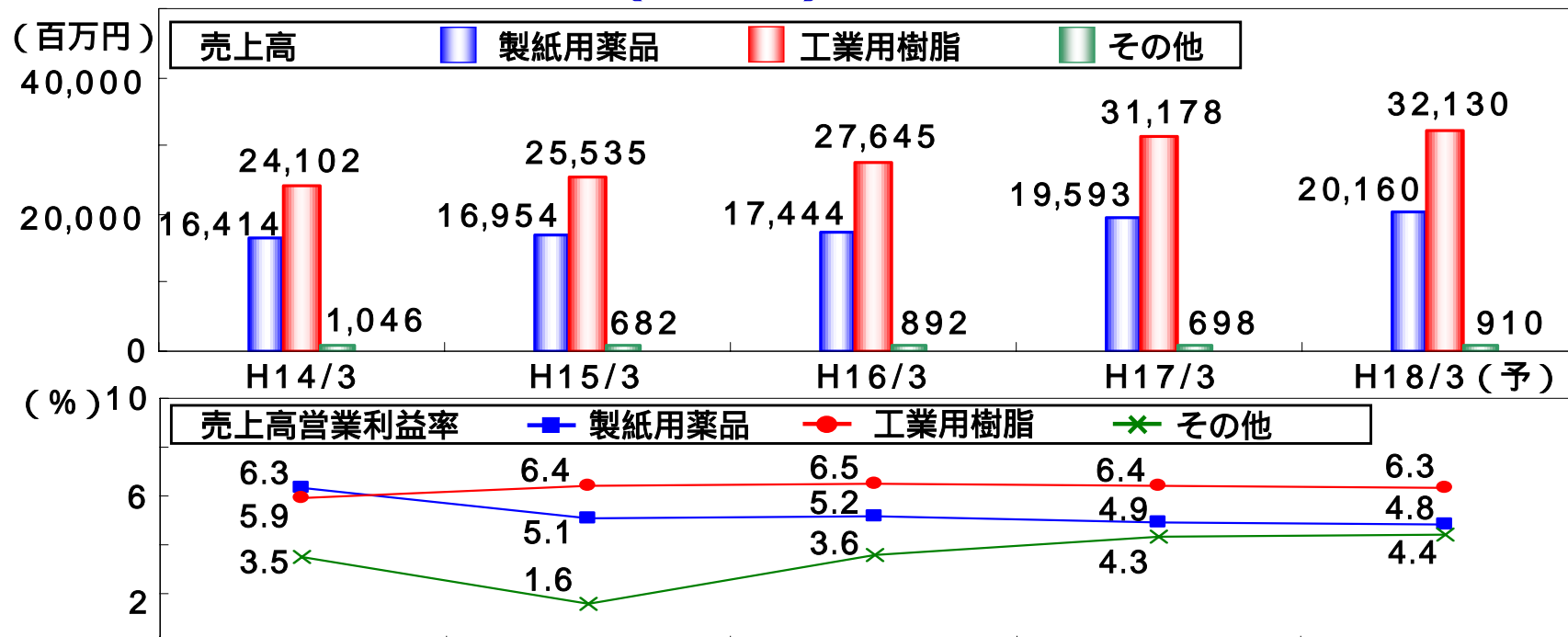
### その他 (平成17年3月期)

洗浄装置の販売が減少し、全体として減収減益。

(単位：百万円)		H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
その他	売上高	892	698	193	21.7	910
	営業利益	31	29	1	6.1	40
	営業利益率	3.6%	4.3%	-	-	4.4%



## 2 - 2 . セグメント別推移 (連結)



### 前期比増減

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

		H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
製紙用品	売上高	1,484 ( 8.3)	540 (3.3)	489 (2.9)	2,149 (12.3)	566 (2.9)
	営業利益	387 ( 27.2)	175 ( 16.9)	42 (4.9)	61 (6.8)	5 (0.6)
工業用樹脂	売上高	720 ( 2.9)	1,433 (5.9)	2,109 (8.3)	3,533 (12.8)	951 (3.1)
	営業利益	62 (4.6)	197 (13.8)	179 (11.1)	203 (11.3)	32 (1.6)
その他	売上高	265 ( 20.2)	364 ( 34.8)	209 (30.7)	193 ( 21.7)	211 (30.3)
	営業利益	57 ( 61.1)	25 ( 70.4)	20 (193.0)	1 ( 6.1)	10 (34.3)

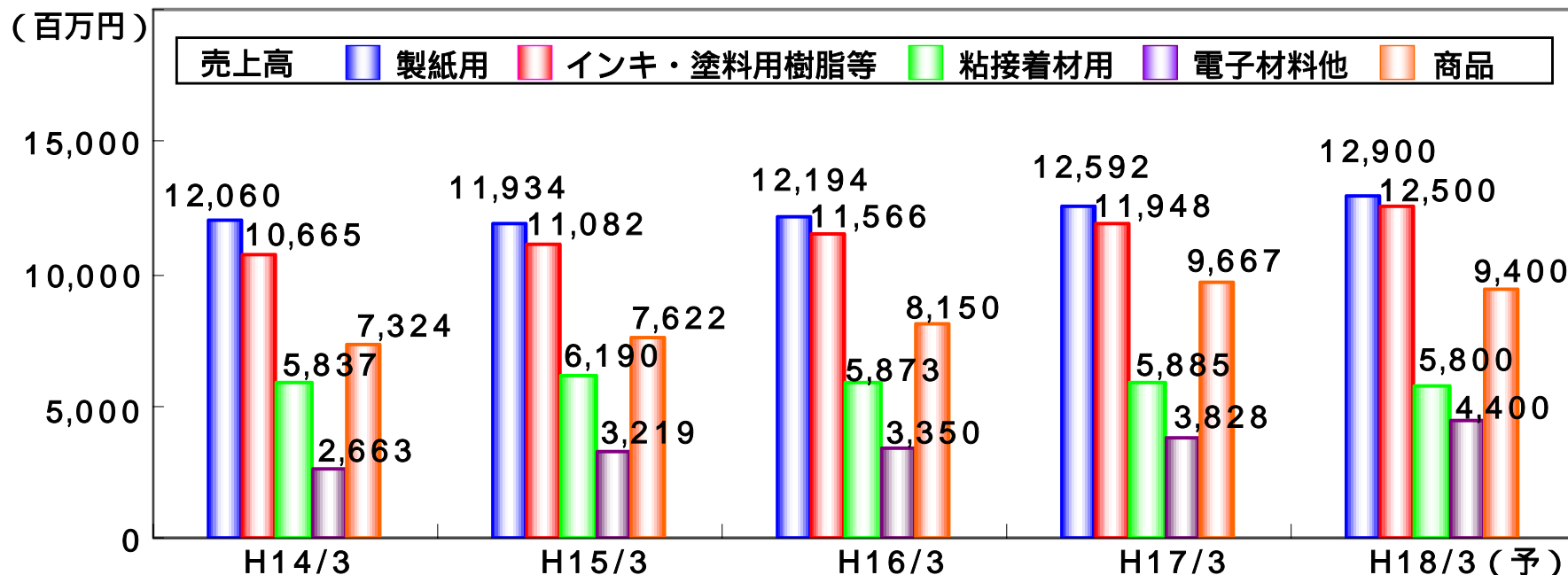
## 2 - 3 . セグメント別売上高 ( 単独 )

( 単位 : 百万円 )	H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
製 紙 用 薬 品	12,194	12,592	398	3.3	12,900
印刷インキ・塗料用 樹脂及び合成ゴム重 合 用 乳 化 剤	11,566	11,948	382	3.3	12,500
粘着・接着剤用樹脂	5,873	5,885	11	0.2	5,800
電 子 材 料 他	3,350	3,828	477	14.3	4,400
製 品 計	32,985	34,255	1,269	3.9	35,600
商 品	8,150	9,667	1,517	18.6	9,400
合 計	41,135	43,922	2,787	6.8	45,000





## 2 - 4 . セグメント別推移 ( 単独 )



### 前期比増減

( 単位 : 百万円 ( )内は増減率% )

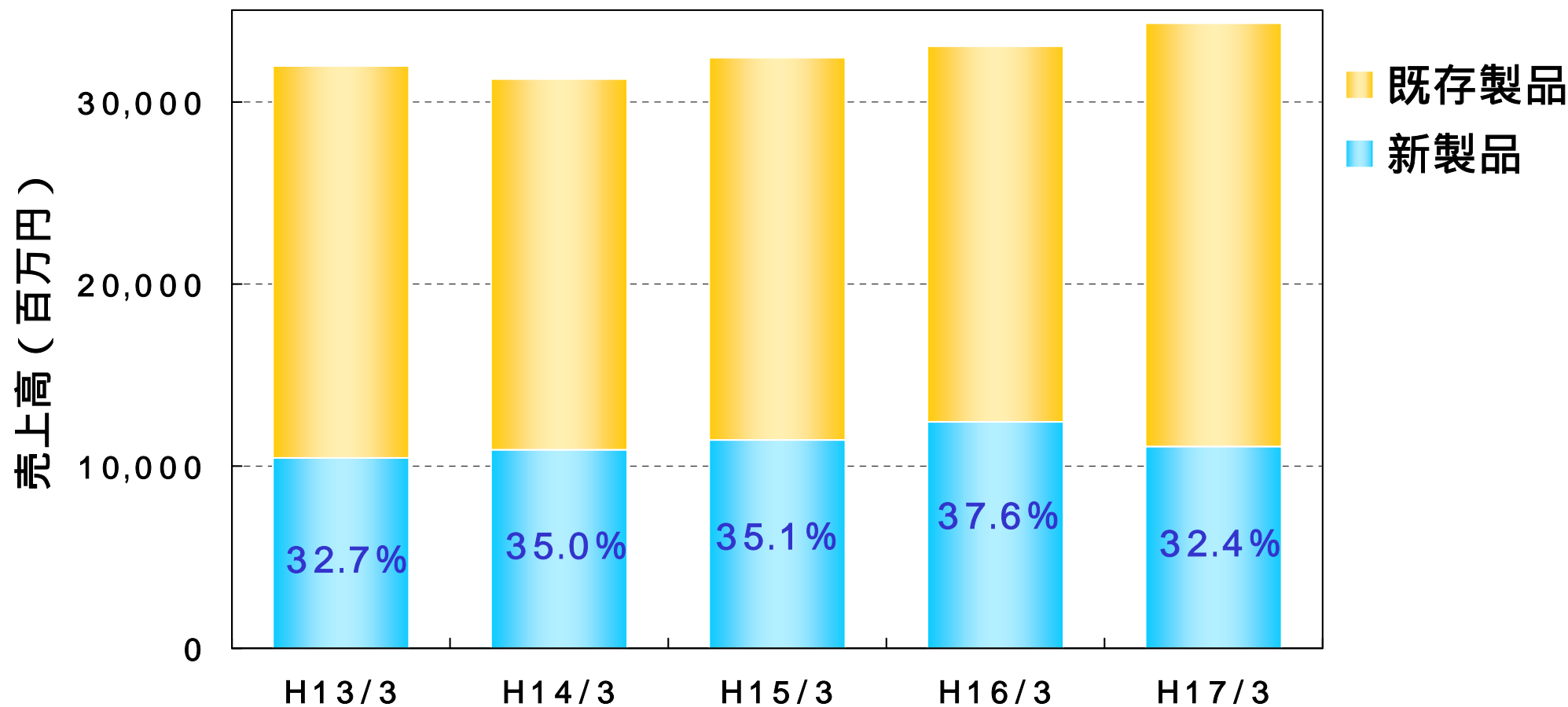
	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
製 紙 用 薬 品	570 ( 4.5)	125 ( 1.0)	259 (2.2)	398 (3.3)	307 (2.4)
印刷インキ・塗料用 樹脂及び合成ゴム重 合 用 乳 化 剤	214 (2.1)	417 (3.9)	483 (4.4)	382 (3.3)	551 (4.6)
粘着・接着剤用樹脂	451 ( 7.2)	352 (6.0)	316 ( 5.1)	11 (0.2)	85 ( 1.5)
電 子 材 料 他	102 (4.0)	556 (20.9)	130 (4.1)	477 (14.3)	571 (14.9)
商 品	1,865 ( 20.3)	297 (4.1)	527 (6.9)	1,517 (18.6)	267 ( 2.8)

### 3 . 事業の特徴

#### 3 - 1 . 事業の特徴：新製品売上高の推移

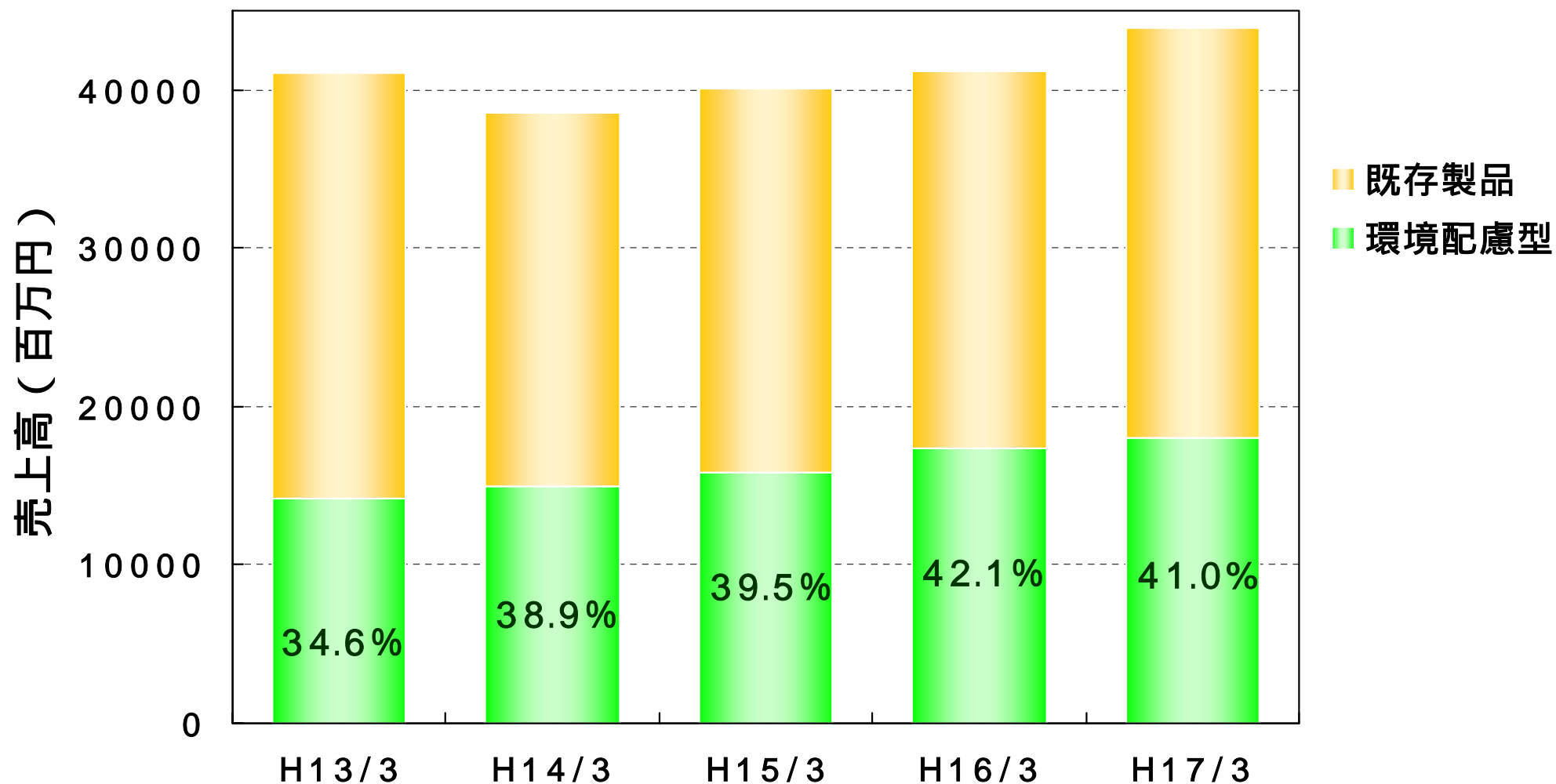
新製品開発比率（取扱品を除く自社開発製品）

（新製品：販売開始から5年間）



## 3 - 2 . 環境配慮型製品売上高の推移

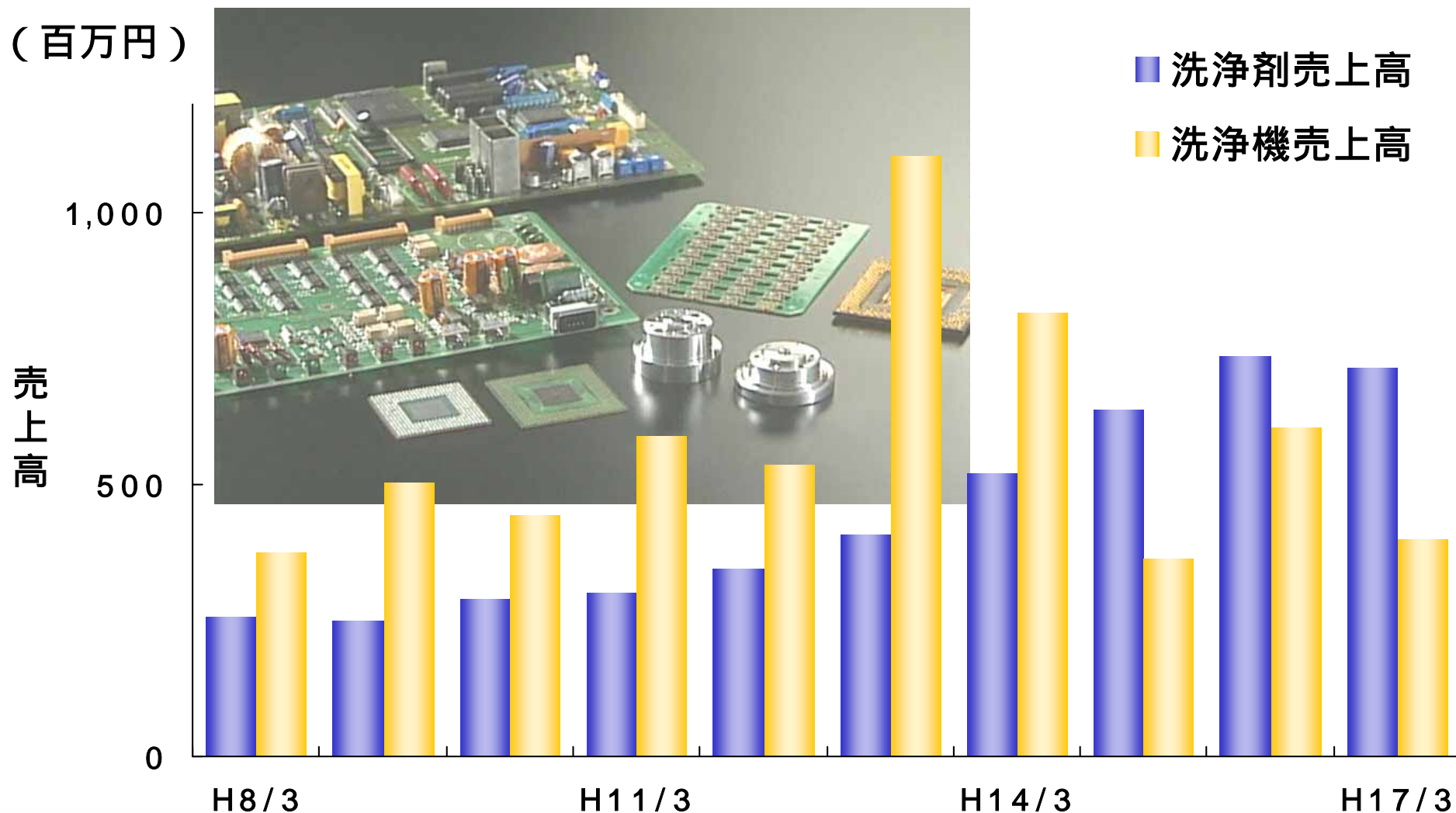
### 環境配慮型製品売上高推移（単独）



# 3 - 3 . 新規事業：精密部品洗浄（パインアルファ）

[ 洗浄対象 ] 実装基板 BGA ハイブリッドIC HDDケース  
 WL - CSP 通信機器部品 シリコンウェハ等

(百万円)

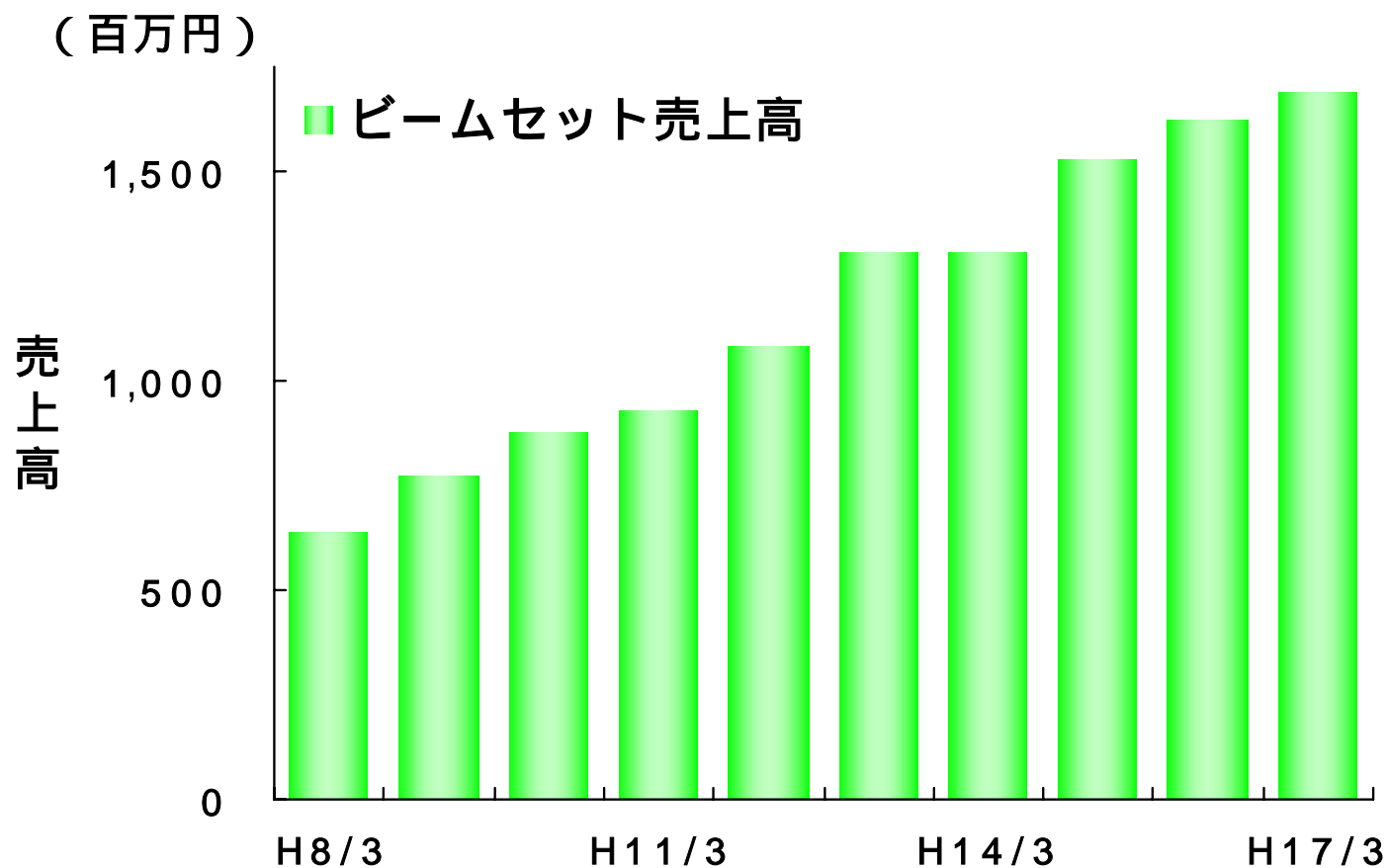


Speciality Chemical Partner



## 3 - 4 . 新規事業：光硬化型樹脂（ビームセット）

- 紫外線、電子線で硬化 -  
 高機能性、無溶剤化、速硬化性=高生産性=省エネ



### 機能性コーティング用途

携帯電話

ディスプレイ

IC生産工程用

### 環境・省エネ対応

金属インキ

クイヤワニス

木工塗料

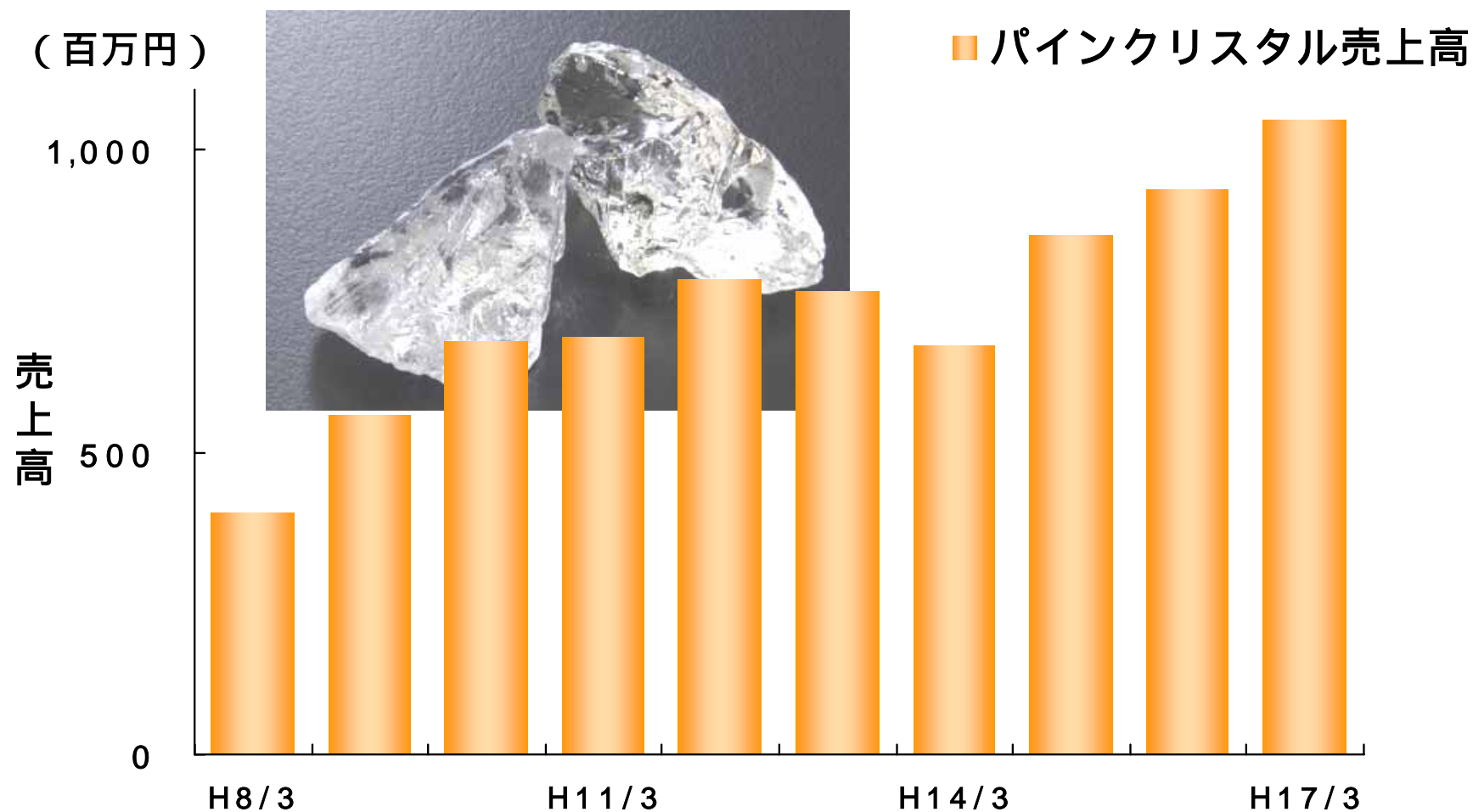
スリップ防止塗料

水系化



### 3 - 5 . 新規事業：超淡色ロジン（パインクリスタル）

[用途] 鉛フリーはんだ用フラックス 高機能粘着・接着剤 医療用ハップ剤  
 インクジェット等の特殊印刷インキ プラスチック用結晶核剤



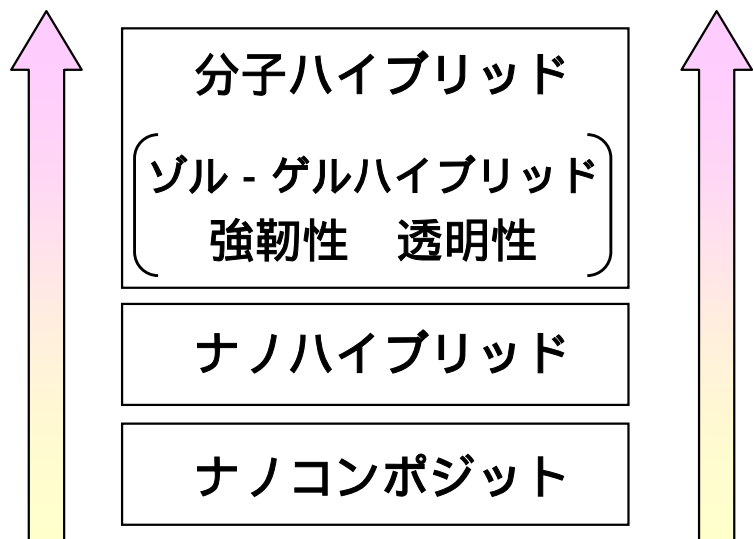
Speciality Chemical Partner



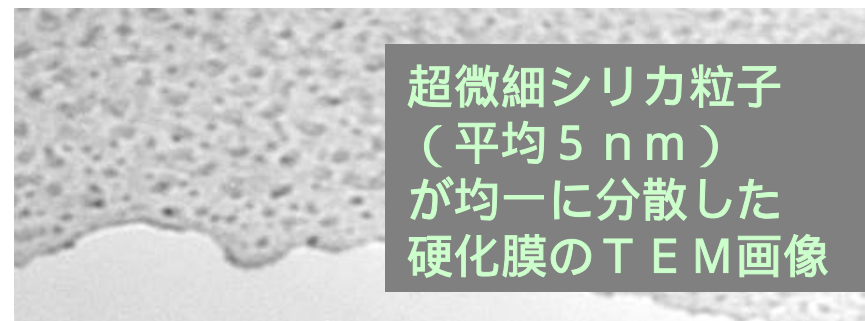
# 3 - 6 . 新規事業： 有機・無機ハイブリッド（コンポセラン）

荒川化学のハイブリッド技術

## 位置選択的分子ハイブリッド



<b>有機材料</b> 柔軟性 加工性 密着性	<b>無機材料</b> 耐熱性 高弾性率 耐溶剤性
----------------------------------	------------------------------------



超微細シリカ粒子  
(平均5 nm)  
が均一に分散した  
硬化膜のTEM画像

- 電子材料用接着剤
- フレキシブルプリント基板用材料
- 樹脂付銅箔、プリント基板用材料
- 耐熱・耐磨耗性コーティング
- 電線被覆、耐熱ベルト
- インキ、塗料 等



無電解メッキ可能なイミドフィルム

## 4 . 中期 5 カ年経営計画の進捗と展望

中期 5 カ年経営計画

平成 1 5 年 4 月 ~ 平成 2 0 年 3 月 ( 5 カ年 )

### 経営方針

将来に向けた継続的な発展と企業価値の向上を目指し、顧客から信頼され、且つ社員一人ひとりが会社の仕事や自分の将来に夢を持ち、それを果たせる企業としての変革を行う。

#### ( 1 ) 既存事業の再構築

事業部門ごとの事業の見直しや徹底したコストダウンを推進する。

#### ( 2 ) 新規事業の創生

次なる事業の柱の確立を目指し、新規事業の創生を推進する。

#### ( 3 ) 国際展開

アジア地域、特に伸長が著しい中国における市場開拓を推進する。

#### ( 4 ) 新たな経営の仕組みの構築

責任と権限を明確にし、機能別最適から事業別最適の経営を目指す。

S p e c i a l i t y C h e m i c a l P a r t n e r





## 4 - 1 . 中期経営目標

(単位：百万円)		H15/3	H16/3	H17/3	H18/3 (予想)	H20/3 (予想)	5 力年 増減%
売上高	(連結)	43,173	45,981	51,470	53,200	57,000	32.0
	(単独)	40,050	41,135	43,922	45,000	46,000	14.9
営業利益	(連結)	2,495	2,738	3,001	3,050	3,800	52.3
	(単独)	1,542	1,820	1,806	1,910	2,350	52.4
経常利益	(連結)	2,559	2,908	3,235	3,250	4,000	56.3
	(単独)	1,888	2,273	2,429	2,450	2,800	48.2
純利益	(連結)	746	1,560	1,826	1,680	2,200	194.6
	(単独)	502	1,404	1,634	1,520	1,750	248.4
売上高経常 利益率%	(連結)	5.9%	6.3%	6.3%	6.1%	7.0%	
	(単独)	4.7%	5.5%	5.5%	5.4%	6.1%	

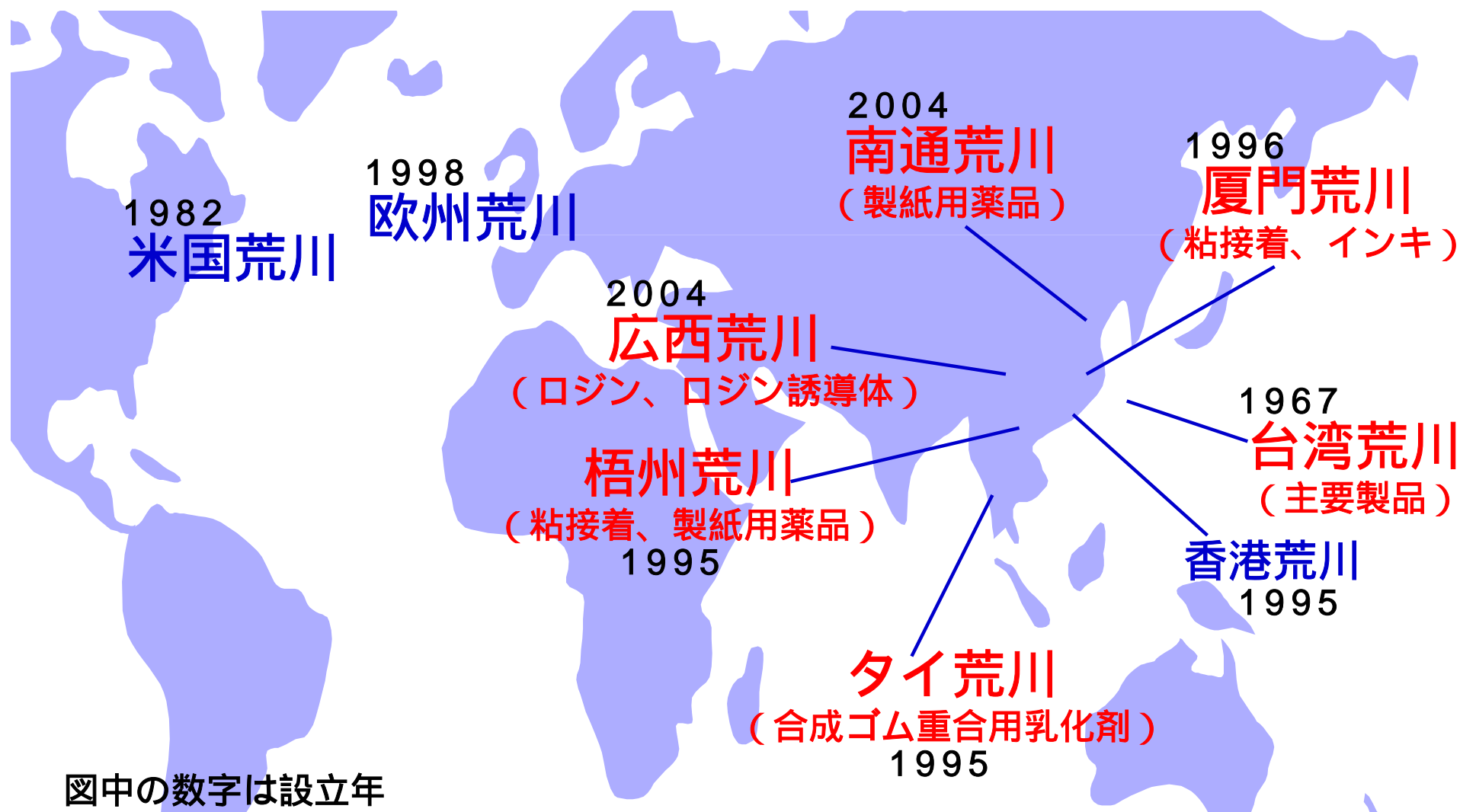


## 4 - 2 . セグメント別経営目標 ( 連結 )

( 単位 : 百万円 )		H15/3	H16/3	H17/3	H18/3 ( 予想 )	H20/3 ( 予想 )	5 年 増減 %
		製紙用品	売上高	16,954	17,444	19,593	20,160
	営業利益	860	902	964	970	1,060	23.2
	営業利益率	5.1	5.2	4.9	4.8	5.5	-
工業用樹脂	売上高	25,535	27,645	31,178	32,130	36,300	42.2
	営業利益	1,624	1,803	2,007	2,040	2,670	64.4
	営業利益率	6.4	6.5	6.4	6.3	7.4	-
その他	売上高	682	892	698	910	1,300	90.4
	営業利益	10	31	29	40	70	546.4
	営業利益率	1.6	3.6	4.3	4.4	5.4	-
合計	売上高	43,173	45,981	51,470	53,200	57,000	32.0
	営業利益	2,495	2,738	3,001	3,050	3,800	52.3
	営業利益率	5.8	6.0	5.8	5.7	6.7	-



## 4 - 3 . 荒川化学グループの国際展開



\* 平成20年3月期連結海外売上高比率目標17%台 (連結売上高約10,000百万円)



## 4 - 4 . 中期経営目標（国際展開）

(単位：百万円)		H15/3	H16/3	H17/3	H18/3 (予想)	H20/3 (予想)	5カ年 増減%
		海外売上高	(アジア)	4,717	5,094	6,237	6,695
(南北アメリカ)	972		754	648	655	780	19.8
(ヨーロッパ)	486		314	328	250	280	42.5
(その他)	395		387	366	420	460	16.2
(合計)	6,572		6,550	7,580	8,020	10,000	52.1
連結売上高に占める 海外売上高の割合	(アジア)	10.93	11.08	12.12	12.58	14.90	-
	(南北アメリカ)	2.25	1.64	1.26	1.23	1.40	-
	(ヨーロッパ)	1.13	0.69	0.64	0.47	0.50	-
	(その他)	0.92	0.84	0.71	0.79	0.80	-
	(合計)	15.22	14.25	14.73	15.08	17.50	-
連結売上高	43,173	45,981	51,470	53,200	57,000	32.0	



## 4 - 5 . 中国展開（ 1 ）

### 南通荒川化学工業有限公司の設立（平成17年度中頃竣工予定）

- ・ 中期5ヵ年経営計画の国際展開における重点テーマとして中国における市場開拓を推進。
- ・ 中国での高い経済成長を背景に紙の需要が増加し、紙・パルプ産業が急速に発展している。
- ・ これまでに梧州荒川化学工業有限公司にて製紙用薬品の製造・販売を進めてきたが、上海近郊を中心とした製紙会社の急速な拡大に対応する為、生産拠点を設立する。

### 南通荒川化学工業有限公司の概要

所在地	中国江蘇省南通市南通経済技術開発区内
設立年月日	平成16年4月20日
主な事業の内容	製紙用紙力増強剤および製紙用サイズ剤などの製造ならびに販売
生産能力	約20,000トン/年
従業員数	約40名
資本の額	登録資本 550万米ドル
出資持分の所有割合	荒川化学工業株式会社 100%



## 4 - 5 . 中国展開（ 2 ）

### 広西荒川化学工業有限公司の設立（平成17年度中頃竣工予定）

- ・中期5ヵ年経営計画の国際展開における重点テーマとして安定的な原材料調達を推進。
- ・ガムロジン世界最大の産地の中国では、国有企業による生産から、平成13年WTO加盟にともない民営の生産工場が台頭するなど自由化が進んだ。
- ・より安定的なロジンの確保、生松脂からロジンおよびロジン誘導体までを一貫生産することによる効率化と品質の向上を目的として、中国におけるロジンおよびロジン誘導体の生産拠点を設立する。

### 広西荒川化学工業有限公司の概要

所在地	中国広西壮族自治区梧州市外向型工業園区	
設立年月日	平成16年6月17日	
主な事業の内容	ロジンおよびロジン誘導体などの製造ならびに販売	
生産能力	約45,000トン/年	
従業員数	約150名	
資本の額	登録資本 1,200万米ドル	
出資持分の所有割合	荒川化学工業株式会社	70%
	三井物産株式会社	20%
	中国広西梧州松脂股份有限公司	10%

Speciality Chemical Partner



## 5 . 設備投資等

### 5 - 1 . 概要

(単位：百万円)		H16/3	H17/3	増減額	増減%	H18/3(予)
設 備 投 資 額 ( 完 工 ベ ー ス )	( 連 結 )	1,068	1,621	553	51.8	4,930
	( 単 独 )	816	990	174	21.4	2,480
設 備 投 資 額 ( キャッシュフローベース )	( 連 結 )	1,131	1,975	844	74.6	4,460
	( 単 独 )	805	1,160	355	44.1	2,310
減 価 償 却 費	( 連 結 )	1,572	1,587	14	0.9	1,750
	( 単 独 )	1,285	1,170	114	8.9	1,300
研 究 開 発 費	( 連 結 )	2,162	2,340	178	8.3	2,410
	( 単 独 )	1,986	1,991	4	0.2	2,070

#### H17/3 主な設備投資（完工ベース）

- ・ 高圧化学：ファインケミカル製造設備 290百万円
- ・ 国内での工業用樹脂設備増強 270百万円
- ・ 工場：安全・環境関連投資 140百万円

#### H18/3 主な設備投資計画（完工ベース）

- ・ 国内外での工業用樹脂設備増強 1,200百万円
- ・ 広西荒川：ロジン及びロジン誘導体製造設備 940百万円
- ・ 南通荒川：製紙用薬品製造設備 660百万円

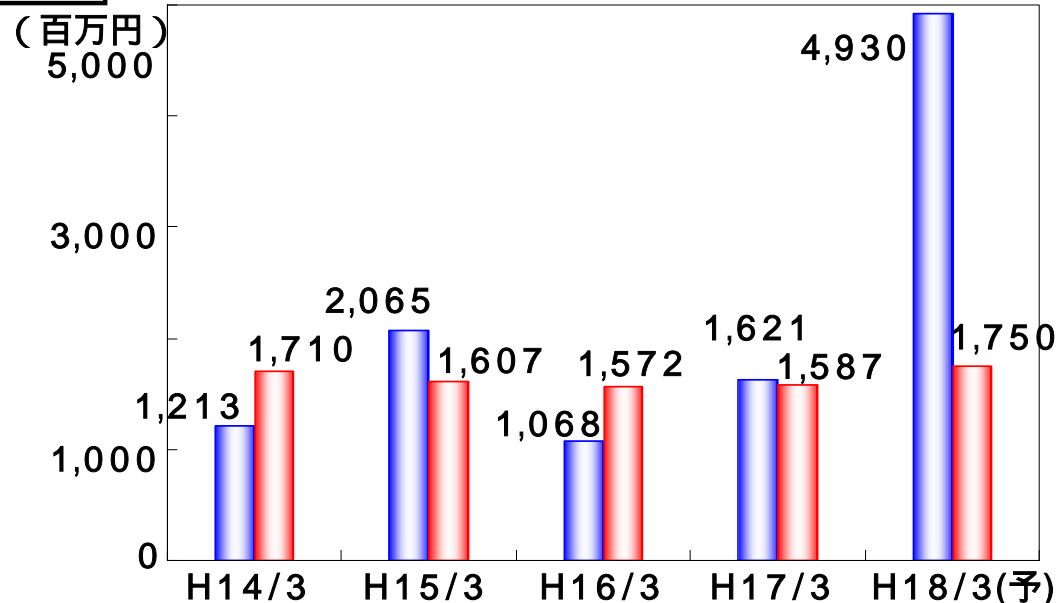
**\* 中期5ヵ年経営計画中の設備投資額15,000百万円を予定**

Speciality Chemical Partner

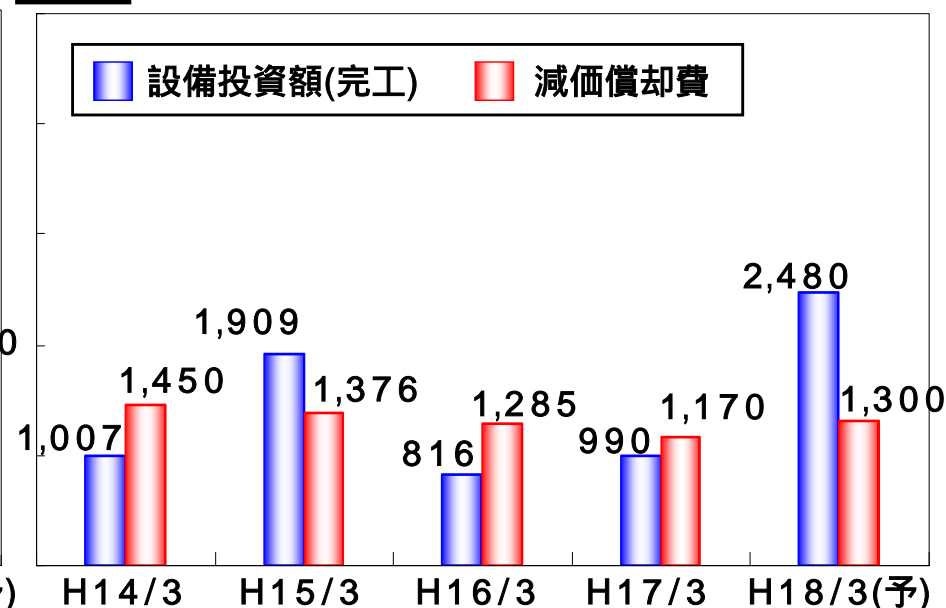


# 5 - 2 . 設備投資等推移

連結



単独



前期比増減

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
設備投資額(完工)	371 ( 23.4)	852 (70.2)	997 ( 48.7)	553 (51.8)	3,308 (204.1)
設備投資額(キャッシュフロー)	291 (17.7)	628 ( 32.5)	171 ( 13.2)	844 (74.6)	2,484 (125.8)
減価償却費	74 ( 4.2)	103 ( 6.0)	34 ( 2.1)	14 (0.9)	162 (10.2)
研究開発費	5 ( 0.3)	129 (7.4)	267 (14.1)	178 (8.3)	69 (3.0)

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
設備投資額(完工)	182 ( 15.3)	902 (89.5)	1,093 ( 57.3)	174 (21.4)	1,489 (150.3)
設備投資額(キャッシュフロー)	500 (40.5)	620 ( 35.7)	311 ( 27.9)	355 (44.1)	1,149 (99.0)
減価償却費	82 ( 5.4)	74 ( 5.1)	90 ( 6.6)	114 ( 8.9)	129 (11.1)
研究開発費	5 ( 0.3)	129 (7.4)	92 (4.9)	4 (0.2)	78 (3.9)

Speciality Chemical Partner





## 6 . 株主還元策

安定的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組む。

平成18年3月期配当予定

中間配当 10円 + 期末配当 10円 計20円

平成17年3月期配当

中間配当 9円 + 期末配当 11円 計20円

平成16年3月期配当

中間配当 8円 + 期末配当 10円 計18円

	H13/3	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3(予)
1株当たり 配当金(円)	17.00	15.00	18.00	18.00	20.00	20.00
普通配当	15.00	15.00	15.00	18.00	20.00	20.00
記念配当	2.00	-	3.00	-	-	-
配当性向(%)	19.6	58.0	59.3	20.6	19.7	21.2

Speciality Chemical Partner



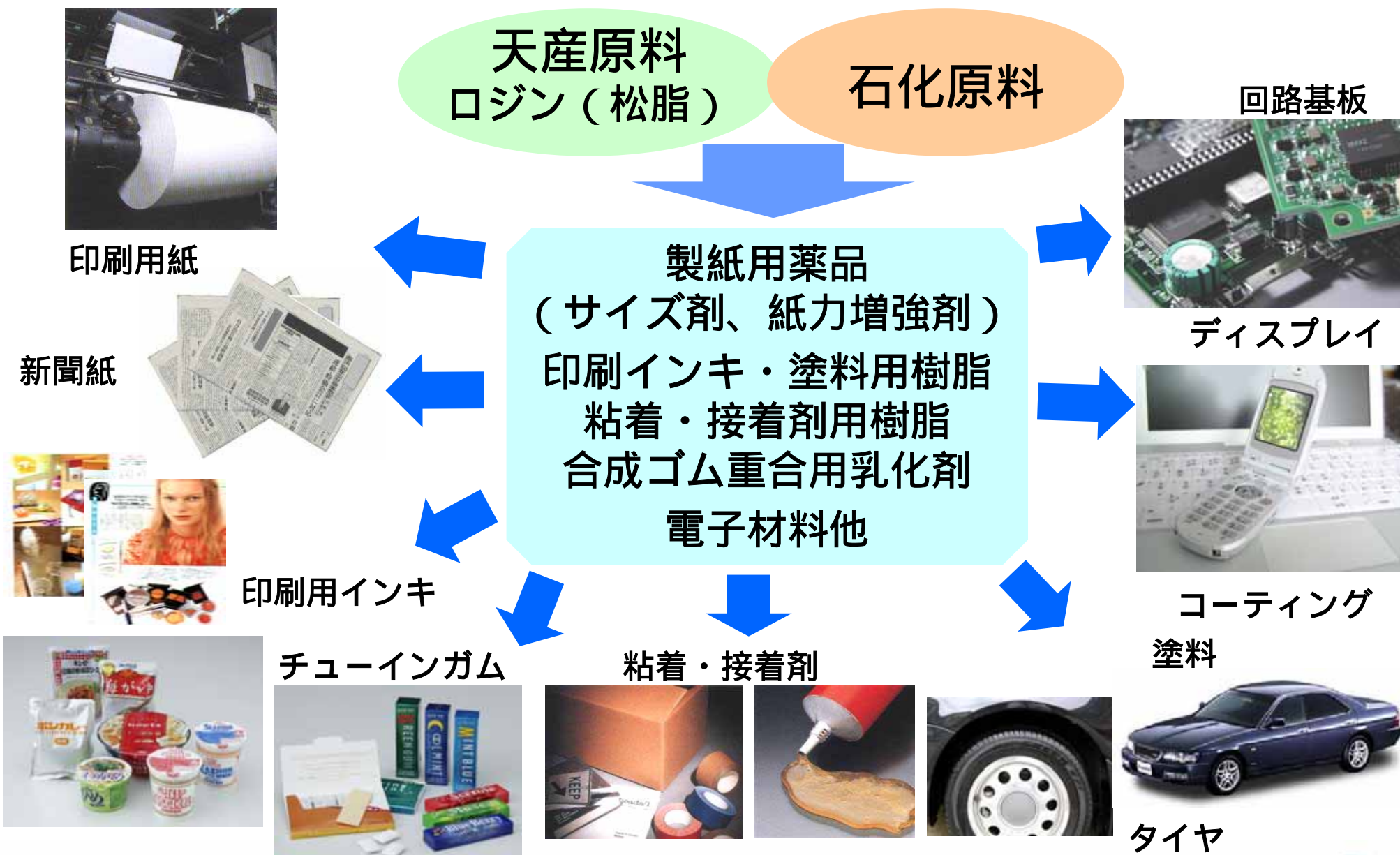
# 参考資料・会社・事業概要

## 1. 会社概要

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 末村 長弘
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	23億6,530万円
決算期	3月
上場取引所	東証・大証一部
証券コード	4968



## 2. 事業の概要



Speciality Chemical Partner



### 3 . 事業セグメント（連結）とグループ体制

#### 工業用樹脂事業

印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂  
 合成ゴム重合用乳化剤  
 粘着・接着剤用樹脂 電子材料用樹脂  
 精密部品洗浄剤等

#### 連結子会社

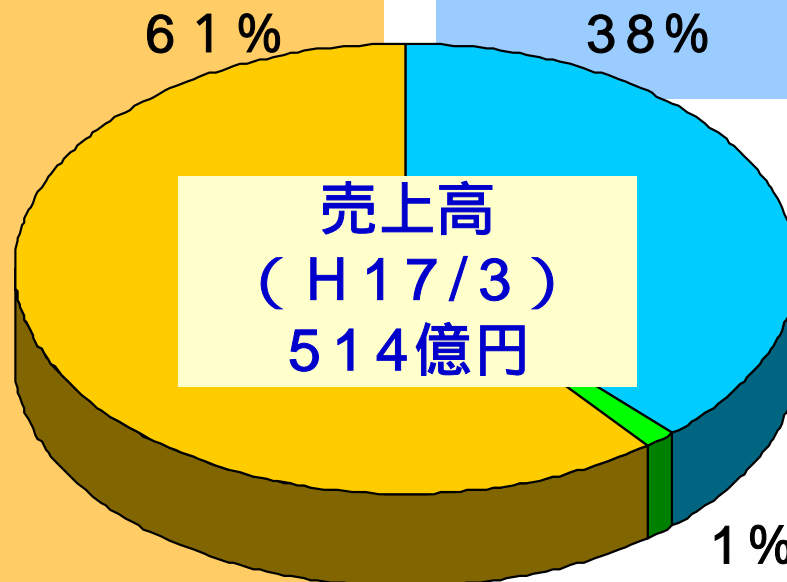
- [日本] 高压化学工業  
日本ペルノックス
- [台湾] 台湾荒川化学
- [中国] 梧州荒川化学  
厦門荒川化学  
広西荒川化学
- [米国] 米国荒川化学  
持分法適用関係会社
- [タイ] タイ荒川化学
- [欧州] 欧州荒川

#### 製紙用薬品事業

サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品  
 剥離紙用シリコーン等

#### 連結子会社

- [台湾] 台湾荒川化学
- [中国] 梧州荒川化学  
南通荒川化学



#### その他事業

洗浄機器販売等

#### 連結子会社

- [日本] カクタマサービス

Speciality Chemical Partner



# 4 . 事業セグメント概要 ( 単独 )

## 商品

塗工紙用薬品  
洗淨機器  
製紙用薬品取扱品  
工業用樹脂取扱品等

22%

## 製紙用薬品

サイズ剤 紙力増強剤  
情報紙用薬品  
剥離紙用シリコーン等

29%

## 電子材料他

電子材料用樹脂  
半導体関連樹脂  
精密部品洗淨剤等

9%

売上高  
( H 17 / 3 )  
439 億円

## 粘着・接着剤用樹脂

粘着・接着剤用樹脂  
水系粘着・接着剤用樹脂  
プラスチック改質剤  
チューインガム基礎剤等

13%

## 印刷インキ

### 塗料用樹脂

### 合成ゴム重合用乳化剤

オフセットインキ用樹脂  
出版・包装グラビアインキ用樹脂  
塗料用樹脂 UV / EB 硬化型樹脂  
合成ゴム重合用乳化剤等

27%

Speciality Chemical Partner



## 5 . 中期 5 ヲ年経営計画と進捗（既存事業）

- 1 ) 徹底したコスト競争力強化のための施策
- 2 ) 製品ごとのライフサイクルに応じた見直し
- 3 ) 主力製品の新規用途開発による高付加価値化
- 4 ) 海外における拡大と新市場の確保

**上海駐在員事務所の開設（平成 1 5 年 1 1 月開設）**

**梧州荒川化学の連結子会社化（平成 1 6 年 3 月）**

**南通荒川化学工業有限公司の設立**

製紙用薬品を中心とする生産拠点（平成 1 7 年度中頃竣工予定）

**広西荒川化学工業有限公司の設立**

ロジンおよびロジン誘導体の生産拠点（平成 1 7 年度中頃竣工予定）



## 6 . 中期 5 カ年経営計画と進捗（新規事業）

- 1 ) 精密部品洗浄分野とこれに関わる分野における事業の拡大
- 2 ) 機能性ファインケミカル分野における事業の拡大
- 3 ) 新素材の市場拡大と次期新規事業の探索

### 高圧化学工業ファインケミカル製造設備新設

電子材料素材を中心としたファインケミカル製品の製造に好適なクリーン環境対応の製造設備（平成 1 6 年 5 月竣工）

### 日本ペルノックスの株式取得による子会社化（平成 1 5 年 1 0 月）

電子材料分野で川下の領域に位置する日本ペルノックスをグループに加えることで、顧客ニーズの把握と技術開発における相乗効果を発揮させ、荒川化学グループとしての電子材料関連分野の中長期的拡大を目指す。



## 7 . 事業計画と進捗（管理体制の再構築）

- 1 ) 事業部門別業績評価制度の再構築
- 2 ) 人事評価・報酬制度の見直し
- 3 ) 全社的業務改革の推進

### インフラの整備

事業部別利益計算書・荒川版経済付加価値の導入

### 貢献主義人事評価報酬制度

人事評価および報酬制度を見直した新制度の導入

### 業務改革活動

全社的な業務改革活動の推進

合理化・効率化のための業務システム再構築（業務統轄部の創設）





# 8 . 組織体制

## < 関係会社 >

ARAKAWA CHEMICAL  
(THAILAND)

ARAKAWA Europe

## < 駐在員事務所 >

台北駐在員事務所

上海駐在員事務所

## < 連結子会社 >

南通荒川化学工業

高压化学工業

日本ペルノックス

広西荒川化学工業

台湾荒川化学工業

梧州荒川化学工業

ARAKAWA CHEMICAL(USA)

カクタマサービス株式会社

HONG KONG ARAKAWA

CHEMICAL

廈門荒川化学工業

経営企画室

品質環境保安室

監査室

業務統轄部

情報システム部

営業管理部

経理部

人事部

総務部

研究管理部

生産技術部

生産部

資材部

新事業企画開発部

国際事業部

企画部

営業部

機能材料事業部

研究開発部

営業第二部

営業第一部

化成品事業部

研究開発部

営業第二部

営業第一部

製紙薬品事業部

研究開発部

営業部

## 9 . ロジンの変遷と荒川化学の取り組み

明治 9年 (1876)	創業、生薬商としてロジン (松脂)、テレピン油などを販売
大正 3年 (1914)	中国産松脂などからロジンの生産開始
昭和10年 (1935)	日本のロジンの国内消費は約2万5千トン (90%が米国からの輸入)
昭和16年 (1941)	太平洋戦争開戦、米国の対日輸出制限、中国産松脂の輸入途絶、国内産松脂の増産
昭和22年 (1947)	日本のロジン輸入再開
昭和29年 (1954)	トール油ロジンの製造を開始
昭和39年 (1964)	日本のロジン輸入シェア 中国20% 米国53%
昭和42年 (1967)	日本での国産松脂からのロジンの生産中止
昭和49年 (1974)	日本のロジン輸入シェア 中国83% 米国11%
平成 7年 (1995)	トール油ロジンの製造を中止 梧州荒川化学工業有限公司の設立
平成15年 (2003)	ロジン世界生産量114万トン (中国55万トン) 日本輸入量7万トン (中国95%)
平成16年 (2004)	広西荒川化学工業有限公司の設立

